

syoss

サイオス
oleo cream
オレオ クリーム
ヘアカラー

使用説明書

- ご使用の際は必ず最後までよく読んで正しくお使いください。
- ヘアカラーはまれに重いアレルギー反応をおこすことがあります。
- ご使用の際は毎回必ず皮膚アレルギー試験(パッチテスト)を行ってください。

- ヘアカラーやヘアマニキュアなどで染めた髪を、その色より明るく染めかえることは困難です。

使用方法、その他について
ご質問がありましたら、
お客様相談室まで、
お問い合わせください。

お客様相談室

☎0570-032525

受付:土・日・祝日を除く
10:00~12:00/13:00~17:00
<http://www.syossjapan.jp/>

ヘンケルジャパン株式会社
〒140-0002 東京都品川区東品川2-2-8

使用上のご注意

1. 次の方は使用しないでください

- ① 今までに本品に限らずヘアカラーでかぶれたことのある方。
- ② 染毛中または直後に、じんま疹(かゆみ、発疹、発赤)あるいは気分の悪さ(息苦しさ、めまい等)を経験したことのある方。
- ③ 皮膚アレルギー試験(パッチテスト)の結果、皮膚に異常を感じた方。
- ④ 頭皮あるいは皮膚が過敏な状態になっている方(病中、病後の回復期、生理時、妊娠中等)。
- ⑤ 頭、顔、首筋に、はれもの、傷、皮膚病がある方。
- ⑥ 腎臓病、血液疾患等の既往症がある方。
- ⑦ 体調不良の症状が持続する方(微熱、倦怠感、動悸、息切れ、紫斑、出血しやすい、月経等の出血が止まりにくい等)。

2. 使用前のご注意

- ① 染毛の2日前(48時間前)には次の手順に従って毎回必ず皮膚アレルギー試験(パッチテスト)を行ってください。パッチテストは、染毛剤にかぶれる体質であるかどうかを調べるテストです。テスト部位の観察はテスト液塗布後30分位および48時間後の2回行います。過去に何回も異常なく染毛していた方でも、体質の変化によりかぶれるようになる場合もありますので、毎回必ず行ってください。
- ② 頭髮以外には使用しないでください。本品は頭髮用の製品です。
- ③ 眉毛、まつ毛に使用しないでください。薬剤が目に入るおそれがあります。
- ④ 顔そり直後は染毛しないでください。皮膚が細かく傷ついているおそれがあり、刺激等を受けやすくなります。
- ⑤ 染毛の前1週間はパーマントウェーブをかけないでください。髪を傷めたり、色落ちしたりすることがあります。

3. 使用時のご注意

- ① 薬剤は使用直前に混合し、直ちに使用してください。
- ② 換気のよいところで使用してください。
- ③ 必ず添付の手袋を着用してください。
- ④ 染毛中に入浴したり、染める前に髪をぬらしたりしないでください。汗やしずく等で薬剤が目に入るおそれがあります。
- ⑤ 薬剤が顔、首筋等につかないようにしてください。薬剤がついたときは、直ちに水で洗い落としてください。
- ⑥ 薬剤や洗髪時の洗い液が目に入らないようにしてください。目に入ると激しい痛みを生じたり、場合によっては目が損傷(角膜の炎症等)を受けたりすることがあります。万一、目に入ったときは絶対にこすらないで、直ちに水またはぬるま湯で15分以上よく洗い流し、すぐに眼科医の診療を受けてください。
- ⑦ 染毛中に発疹、発赤、はれ、かゆみ、強い刺激等の皮膚の異常やじんま疹、息苦しさ、めまい等の症状が現れた場合には、直ちに薬剤をよく洗い流し、すぐに医師の診療を受けてください。
- ⑧ 染毛後に何らかの異常を感じた場合には、必ず医師の診療を受けてください。

4. 取り扱い上のご注意

- ① 混合した薬剤の残りは効果がなくなります。必ず洗い流して捨ててください。

5. 保管上のご注意

- ① 幼小児の手の届かない所に保管してください。誤って飲んだり食べたりすると危険です。
- ② 高温や直射日光をさけて保管してください。

皮膚アレルギー試験(パッチテスト)の手順

皮膚アレルギー試験(パッチテスト)時に必要なもの



1. テスト液を作ります。

- (1) 1剤チューブのキャップをはずし、キャップ頭部の突起で、チューブの口に穴をあけます。ごく少量をトレイに出します。
- (2) 2剤を、1剤と同量だけトレイに出し綿棒で混合します。

※キャップは1剤と2剤をまちがえないように、それぞれ元のチューブにしっかりとめてください。



2. テスト液ができましたら、腕の内側に10円硬貨大にうすく塗り、自然に乾燥させます。

- テスト液が乾燥するまで、衣服につかないようにご注意ください。30分位放置しても乾かない場合はテスト液のつけすぎですから、余分なテスト液を、ティッシュペーパーなどで軽く拭き取ってください。
- テストをした当日は、なるべく入浴しないでください。やむをえず入浴する場合は、テスト部位をぬらさないでください。



染毛の2日前(48時間前)には、毎回必ず行ってください。

皮膚アレルギー試験(パッチテスト)は、アレルギーの有無をチェックするための簡単なテストです。ある食品、化粧品、医薬品などでアレルギー反応をおこす人がいるように、ヘアカラーでアレルギー反応をおこす人がまれにいます。ヘアカラーのアレルギー反応は、初回の染毛時のテストで異常が認められなくても、何回目かに初めて異常が認められる場合もあります。染毛のたびに毎回必ず皮膚アレルギー試験(パッチテスト)を行ってください。

3. そのまま触れずに48時間放置します。(時間を必ず守ってください)。

4. テスト部位の観察はテスト液塗布後30分位および48時間後の2回は必ず行ってください。

- そのとき、塗布部に発疹、発赤、かゆみ、水疱、刺激等の皮膚の異常があった場合には、手などでこすらないで、直ちに洗い落とし、染毛はしないでください。
- 途中、48時間以前であっても、同様の皮膚の異常を感じた場合には、直ちにテストを中止し、テスト液を洗い落として、染毛はしないでください。
- かぶれた部位などは手などでこすらず、すぐに皮膚科専門医の診療を受けてください。

5. 48時間たって異常がなければ、すぐに染毛してください。

※日をおくと体質が変わることがあります。皮膚アレルギー試験(パッチテスト)は毎回必ず染める前に行ってください。

ご使用前の準備

必要なものの準備



髪の状態

- 前洗いの必要はありません。ただし髪の汚れのひどいとき、カラスプレーなどの一時染毛料や多量の整髪料をご使用のときは、前日に洗髪しておいてください。
- 非酸化染毛剤(マロン マインドカラーなど)で染めた髪には使用しないでください。

身じたく

※薬剤が衣服、床、じゅうたん、壁などに付着すると落ちませんので、充分注意してください。

- 汚れてもかまわない前あきの服装に着替え、首にケープかタオルをかけます。
- 床などが汚れないように新聞紙などを重ねて敷きます。
- 生えざわや耳や首に混合クリームがついて着色するのを防ぐために、コールドクリームなどを塗っておきますと、ついても落としやすく便利です。ただし、コールドクリームが髪につくと、染まりにくくなりますのでご注意ください。
- 爪も髪と同じように染まりますから、添付の手袋をはめてお使いください。このとき手首を輪ゴムでとめておくと操作しやすくなります。
- メガネ、イヤリング、ピアス、ネックレス、指輪は、はずしてください。
- 寒いときは、なるべく暖かい部屋で染めてください。

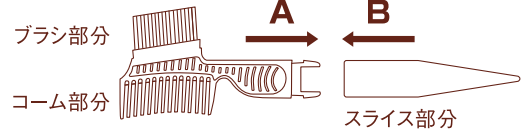


ご使用方法・How to use

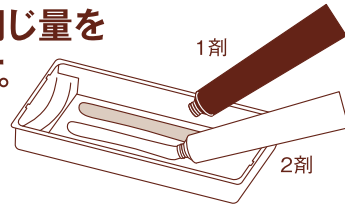
1 使用直前に混合クリームをつくります。

1 コームブラシを用意します。

A、Bをしっかり差し込みセットします。



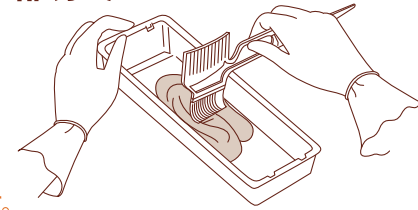
2 1剤と2剤を、添付のトレーの中に必要なだけ、同じ量をしぼり出します。



3 コームブラシのブラシ部分でよく混合します。

できあがった混合クリームは、すぐに髪に塗ってください。

※混合クリームは紫色に発色することがありますが、それぞれ表示の色に染まります。



⚠ 1剤・2剤についてのご注意

※中身の残ったチューブのキャップは、1剤と2剤をまがえないようにそれぞれ元のチューブにしっかりとめてください。また、高温の場所をさけて保管してください。

※1剤クリームが、まれに一部分黒色か茶色になることがあります。染毛効果には影響ありません。

2 混合クリームを髪に塗ります。



塗布する順番

- 1 顔のまわり
- 2 分け目
- 3 サイド
- 4 耳のうしろ
- 5 後頭部

目のあらいクシで髪をよくとかしてほつれをのぞき、クシ通りをよくしておきます。
※乾いた髪に使用してください。

⚠ 染める時のご注意

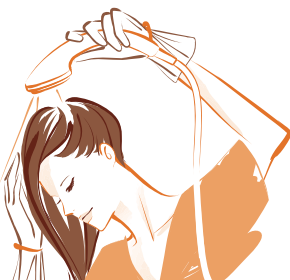
- ※混合クリームが顔や皮膚についたときは、すぐに水で湿らせたティッシュペーパーなどで拭きとってください。時間がたつほど、とれにくくなります。
- ※金属製のヘアピンやクシなどは、熱をもち髪をいためることがありますので、使用しないでください。
- ※混合クリームが目に入らないよう、特に注意してください。
- ※使い残した混合クリームは再使用できませんので、必ず捨ててください。

分割して使用される場合

- ※コームブラシ、トレー、手袋をぬるま湯でよく洗って保管してください。
- ※2回目からも染毛の前には毎回必ず皮膚アレルギー試験（パッチテスト）を行ってください。
- ※2回目以降のご使用の際、1剤の先端が黒くなっていることがありますが、染毛効果には影響ありません。

3 洗い流し、よく乾かします。

放置時間がすぎたら、ぬるま湯で十分にすすぎ、シャンプーをした後、トリートメントで仕上げます。汚れてもかまわないタオルで拭いてください。



1 髪に塗ります。

左の〈塗布する順番〉を参考に、混合クリームをブラシにとり、髪の根元→中間→毛先の順で塗っていきます。



2 髪全体になじませます。

コームブラシのコーム部分で均一になるように髪全体によくのばしてください。



3 20分間放置します。



1 顔のまわり

白髪の気になる根元部分は、ブラシを寝かせて混合クリームを置くように塗りましょう。

2 分け目

コームブラシのスライス(とがった)部分で髪を分けながら、少しずつ塗ります。



3 サイド

先に利き手の反対側を塗ると、腕の汚れが防げます。



4 耳のうしろ

耳のうしろやえり足は、髪を持ち上げてしっかり塗りましょう。



5 後頭部

髪を前に持っていきながら、えり足の上まで塗っていきます。塗り残しに注意しましょう。



1 髪に塗ります。

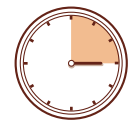
左の〈塗布する順番〉を参考に、混合クリームをブラシにとり、新しくのびてきた髪の根元に塗ります。

※このとき、全体につけると、毛先の部分と根元が均一に染まらないことがあります。毛先の部分にはつけないようにしてください。



5分

2 15分間放置します。



15分

3 髪全体になじませ、10分間放置します。



根元につけた混合クリームを、コームブラシのコーム部分で毛先に向かってのばし、なじませ放置します。



10分

※白髪の多い方、髪の太い方は、放置時間を5～10分長めにするとしっかり染まります。

⚠ 洗髪・乾かす時のご注意

- ※オイルを配合しているため、シャンプーの際に泡が立ちづらいことがあります。
- ※洗髪時の洗い液が目に入らないよう、特にご注意ください。
- ※目に入ったときは、すぐに水またはぬるま湯でよく洗い、眼科医の診療を受けてください。
- ※自分の判断で目薬を使用しないでください。
- ※髪は十分に乾かしてください。半乾きの状態では枕カバー、衣服等に色がつくことがあります。

⚠ 使用後のご注意

- ※再度ブリーチやヘアカラー(ヘアマニキュアを除く)を使用される場合は、髪や地肌への負担を考えると1週間以上の間隔をおいてからご使用ください。
- ※次のような場合には、衣類、帽子、枕カバーなどに色移りすることがありますのでご注意ください。
・髪がぬれているとき。(運動などで多量の汗をかいたとき、雨にぬれたとき、洗髪後など。)
- ・育毛剤、ヘアリキッド、ヘアフォームなどの頭髪用品を多量に使用したとき。